様式　２－１

**ＤＸモデル創出補助金**

**事　業　計　画　書**

**【事業名、等】**

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者企業名または団体名 | （企業総数：　　社）※コンソーシアムで申し込む場合は別紙にも記載のこと |
| 事業の名称 | （50文字以内：様式１の記載内容と合せること） |
| 事業の着手及び完了期日 | （様式１の記載内容と合せること）（着手）　　　年　　月　　日～（完了）　　　年　　月　　日 |
| 補助対象事業の経費合計－① | （税抜額で記載すること）円 | 補助金申請額1. の2/3以内、

上限700万円） | （税抜額で記載すること）円 |

（注：この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。）

1. 市内ＩＴ事業者の事業概要・業界動向等を記載してください。
2. この事業で取り組むＤＸ化のターゲットとなる産業分野（業種及び業態）と、その分野における現状とＤＸ化に向けた課題を記載してください。

・課題の全体像が把握できるよう、構成図・写真・表等を使用することが望ましい（別紙添付可）。

1. この事業で取り組む内容を記載してください。

・ＤＸを行う目的・狙い、対象となる事業の内容、ＤＸ化のポイントなど。事業の全体概要が把握できる構成図・写真・表等を適宜添付すること（別紙添付可）。

1. デジタル技術の活用内容を記載してください。

・本事業を実施する上で、どのようにデジタル技術を活用するのか具体的な方法を記載してください。構成図・写真・表等を適宜添付すること（別紙添付可）

1. 本補助事業を確実に遂行するための体制を記載してください。

・市内ＩＴ事業者については、想定している体制や作業従事者数、経営層による事業実施許可の有無、活用できる経営資源（人的ネットワーク・情報・資金その他）など

1. 本事業の実施により、ＤＸ化のターゲットとなる産業分野で起こりうる変化を（今後の発展性、将来的な収益性、地域経済や業種業界へもたらす影響等にも触れつつ、定量的な数値と併せて）記載してくだい。
2. 本事業の実施により、申請者自身が得られるメリットを記載してください。
3. 令和５年度以降のロードマップを示してください。

・事業実施後の想定スケジュールを本項にて記載すること。

・今年度の事業実施期間内におけるスケジュールは様式２－３を使用のこと。